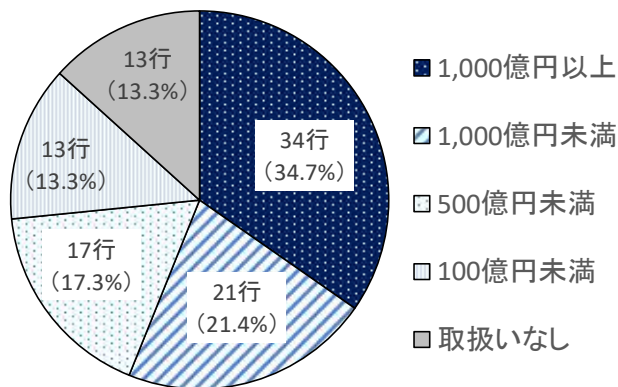


- 地域銀行のうち8割強が仕組貸出を保有し、その残高は11兆円程度（評価損▲0.4兆円程度）。 ※ 2025年9月末時点
- 地域銀行等へのモニタリング結果を踏まえ、仕組貸出における商品性の留意点を整理し、金融機関がリスク管理態勢の強化や開示の充実にに向けた対策を講じる上で重要な論点等を取りまとめ。

<地域銀行の取組状況>

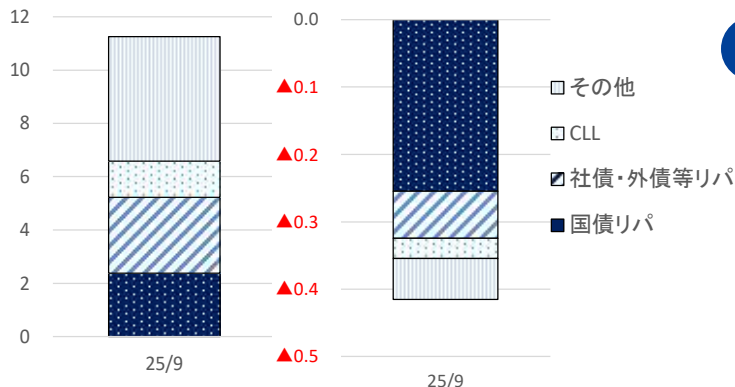
【図表1】仕組貸出に取り組む地域銀行数



【図表2】仕組貸出の残高・評価損益（兆円）

<残高>

<評価損益>



(注) 「その他」は、コーラブルローンやアセットバックローン等が含まれる

<モニタリングにおける主な論点等>

1. 商品性の留意点

(1) リスク管理上の留意点

デリバティブを組み込み、SPC（特別目的会社）等を活用して有価証券を貸出に変換するなど、複雑かつ複合的なリスク構造

- ① リスク特性の把握が困難
- ② 追加的な取引コストが発生
- ③ 流動性が低く、機動的な資産運用やストレス時のアクションプランの実行を阻害

(2) 開示上の留意点

実質的な有価証券運用であるが、会計上は「貸出金」として開示

- ① 外形的な貸出増加や時価評価の回避を主目的に取り組む可能性
- ② 外部のステークホルダーによる実態把握が困難

2. 留意点を踏まえた対応

(1) リスク管理態勢の整備

組織体制を整備し、入口審査や期中管理においてリスクを適切に把握・管理するなど、複雑な商品性に見合った実効的なリスク管理態勢を整備する必要

(2) 開示の適切性・充実

金融機関の財務に一定の影響を及ぼす場合には、外部のステークホルダー等に対して、残高や時価情報、今後の取組方針、リスク管理態勢など、適切な情報開示を行うことが望ましい

- リスク管理態勢の整備や開示の適切性・充実の観点から、モニタリングで把握した「懸念事例」や「参考事例」を整理。
- 金融機関においては、本レポートを参考としつつ、自身が保有する仕組貸出の規模・特性を踏まえながら、リスク管理態勢の強化と開示の充実に取り組むことを期待。

＜モニタリングを通じて把握した主な事例＞

| 懸念事例 | 参考事例 |
|---|---|
| <p>(経営戦略上の位置づけと組織体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲ 年間貸出目標の達成や、損失限度額等の内部規程に抵触せず（時価評価の回避）に債券運用を行うため、取組を開始 ▲ 所管の融資部門は、有価証券運用やデリバティブ取引等に知見のある市場部門等と連携不足 <p>(入口審査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲ 類似の商品性を持つ有価証券と比較して、コストやリスクに見合ったリターンが確保されているかの分析が未実施 ▲ 金利や流動性、スワップカウンターパーティ、オプションの非線形リスク等の計測が不十分 <p>(期中管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲ 時価情報の把握に留まり、損失限度額の設定や評価損(逆ザヤ)銘柄の処理要否の具体的な検討が未実施 ▲ 経営陣に金利リスク量や評価損益を報告しておらず、保有銘柄の現状を把握できる体制の構築が不十分 <p style="text-align: right;">等</p> | <p>(経営戦略上の位置づけと組織体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 取引を行う1線は、専門知識や実務経験のある部署（ストラクチャードファイナンス部等）とし、2線のリスク管理部門が商品性を踏まえたチェックリスト等を作成して牽制 ● 取組開始にあたって内部規程やマニュアルを整備 <p>(入口審査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リスクカテゴリーや商品別の保有限度枠を設定 ● リスク資本配賦対象として、信用リスクやオプションの非線形リスクを考慮した金利リスクを計測 <p>(期中管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 業者時価と独自で計算した内部時価を比較し、価格の妥当性を検証 ● 仕組貸出を含めて損失限度額やアラームポイント、アクションプランを設定し、ストレステストも実施 <p>(開示の適切性・充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 貸出残高の推移や今後の取組方針、時価の算定方法、商品特性を踏まえたリスク管理態勢の整備状況等をディスクロージャー誌などの公表資料で開示 <p style="text-align: right;">等</p> |